

総会のご案内

- 日時 令和6年11月3日(文化の日)
10時～13時 (受付9時30分～)
- 会場 ホテルアソシア静岡 会費 5,000円
- 催事 『歌とおはなし会』
- 講師 山本敬子氏 (布絵本作家・ピアノ教師)
山本敬子様は、フェルトなどの生地にボタンやマジックテープなどを使って、手で付けたり外したりできるパリアフリー布絵本の製作活動をしています。今回は、秋の童謡と製作した手袋人形や布絵本を使ってお楽しみいただきます。
なお、高7回卒生の皆様は米寿のお祝いの年になりますのでご招待いたします。該当学年でご招待状が届いてないようでしたら、お手数ですが事務局までお知らせください。

ご長寿おめでとうございます

◎白寿・百歳(38回卒生)
加藤 浩代 様 後藤 みよ 様 榊原 いし 様

新副会長について



平成20年から15年間副会長としてご尽力賜りました西澤良子様(高7回卒生)が退任いたしましたので、後任に吉永光希様(高44回卒生)が今年度より新しく加わりました。どうぞよろしくお願いたします。

役員総会報告

令和6年5月18日5年ぶりに役員総会を開催する事ができました。久しぶりということもあり、連絡が行き届かなかったりと問題点もありましたが、54名のクラス幹事が出席してくださいました。初めての試みとして、役員総会後に静岡大成高校生との交流会「スマホ講座」を開催しました。普段疑問に思っていた操作方法など聞く事ができ、高校生にとっては異世代交流ができてとても有意義な時間を過ごすことができました。



会長挨拶

高23回卒 仁田 桂子(杉原)



「危険な暑さ」という言葉が盛んに言われていますが皆様お元氣でしょうか?

コロナ禍の為に出来なかった総会が今年は5年ぶりに開催する事ができるようになりました。うれしい限りです。その間に皆様におかれましては色々なことがあったと思いますが、また集まる事が出来てその月日を埋められたらいいなと思います。

創始者杉原正市が女子教育の必要性を感じ、鷹匠の地に「私立静岡精華女学校」を創立して今年で121年になります。2028年には125周年をお祝いしたいと考えております。時代は変わり、共学になり、校名も静岡大成中学校・高等学校に変わりましたが、建学の精神「時代に即応する新しい人材の育成」は今でも引き継がれています。道に迷った時には正市先生ならどの様に考えるのかなど私は考えます。

今年はパリオリンピック、パラリンピックが開催されました。翌日に響くとは思いましたがつい夜中までTVを観てしまいました。それぞれの選手がそれぞれの物語を持っての参加であつたでしょう。男子体操の団体戦は特に圧巻でした。橋本大輝選手があん馬で落下してしまいどうなることかと心配しましたが、菅和磨キャプテンやその他のメンバーによる声掛けや励ましの姿、決して諦めない姿勢に感銘しました。そして団体戦の金メダルを獲得しました。その他の競技をいったら切りがないので止めておきます。でも意外だったのは卓球の早田ひな選手が「オリンピックが終わって何かしたいことは?」の問いに「知覧特攻平和会館を訪ねたい」と言ったことです。「なぜこんな若い世代の人が?」と思いました。「私がこうして卓球ができるのが当たり前じゃないということを感じたい」と。

8月は特に戦争、平和について考えなければならぬ月だと思えます。私もこの夏、知覧に行く計画がありましたので、早田ひな選手の言葉が響きました。「お母さんこれまで育ててくれて有難うございます。私はりっぱに敵艦に体当たりします。」の言葉を残して知覧を飛び立った若者を思うとその精悍な写真に涙がとまりませんでした。日々大切に生きなければと再認識した次第です。
(8月下旬記)

事務局より

住所・氏名変更について

転居や住居表示変更、結婚等で住所や氏名などの変更が生じた場合には早めに同窓会事務局までお知らせください。尚、連絡の際には、卒業年度・卒業回数・在籍時の氏名(旧姓)・変更前の住所氏名などもお忘れなく!

(連絡先) 静岡市葵区鷹匠二丁目4-18
静岡大成中学校・高等学校内
静岡精華・大成同窓会
☎054(254)7334

●同窓会事務補助費決算報告

令和5年4月～令和6年3月

<収入の部>	
前年度繰越金	1,095,007 円
振込総額	390,986 円
	① 1,485,993 円
<支出の部>	
同窓会だより印刷代	149,600 円
印刷代振込手数料	880 円
郵送代	44,650 円
用紙代	1,421 円
合 計	② 196,551 円
<次年度繰越金>①—②	1,289,442 円

事務補助費振込みのお願い

「同窓会だより46号」お楽しみいただけたいでしょうか。
この同窓会だよりは、事務補助費で運営されており、平成28年度発行分からは希望者と事務補助費寄付者のみに郵送しております。これからも母校の様子・同窓会活動をお知らせするため「同窓会だより」の発行を続けていきたいと思っていますので、1口1,000円の寄付に引き続きご協力いただきたくお願い申し上げます。

なお、母校ホームページの同窓会コーナーに「同窓会だより」を掲載しております。



時代に即応する人材
凛々しきこと 優しきこと

精華

静岡精華・大成同窓会だより No.46

校長挨拶

静岡大成中学校・高等学校
校長 山田 隆司



同窓生の皆様こんにちは。日頃母校の教育にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。同窓生の皆様はお変わりございませんでしょうか。

今本校で取り組んでいるのは、「社会につながる学校」創りです。この考え方の原点は、本学園創立者杉原正市先生の教育にあります。以下は、「静岡精華百年史」から抜きた。私立静岡精華女学校の教育方針の一部です。

- ◎生徒を人間として大切にしよう。生活空間は自分たちで管理させよう。
- ◎近い将来家庭人となったときに使える知識や技術も身に付けさせよう。
- ◎無試験で希望者を入学させる。学力不十分なら入学後補充授業をやればよいではないか。
- ◎成績は1回のペーパーテストでつけない。普段の授業の様子をよく観察してつけよう。
- ◎中等以上の社会に通用する女子を育成するのだ。
- ◎差別したり、優越感・劣等感を持たせるようなことをしてはいけない。
- ◎世の中のことも知らずに卒業しては精華の卒業生として恥ずかしい。修学旅行で歴史・地理・経済を勉強させよう。

当時の精華は、人間教育の精神を教育の根底に置いていた学校であることが分かります。この教育によって、多くの卒業生が社会で活躍され、あるいは家庭を守ってこられました。まさに「時代に即応する新しい女性の育成」だと思います。

今本校が目指しているのは、自分を磨いて強みを持たせ、自ら道を切り開いていける人を育てることです。昨年度掲げた「自律、対話、行動」は、そのような人に不可欠な要素(コンピテンシー)です。そして「チーム担任制」で、一人ひとりの生徒を複数の担任が支援していきます。

日本で2023年に生まれた子どもの数は、76万人を割って8年連続で過去最少を記録したそうです。76万人を割るのは、国の予想より12年早いということで人口減少は加速しています。生徒数も減少している中、静岡市内の私立高校13校中、今年度定員に達した学校はわずか4校で、その一つが本校でした。他の3校は、大型スクールバスを数多く走らせたり、市外から多くの運動部員が入学したり、中学からの内部進学者が半数近くを占め進学を売りにしている学校でした。大成が評価されたのは、杉原先生の教育が実践されているからだだと自負しています。

2040年には、働き手の中心となる現役世代は、現在よりも2割減少し、65歳以上の高齢者の割合は3割を超えると予想されています。社会は大きく変わります。その社会で活躍できる生徒を育てることが、本校の役割だと考えています。

今年は私が校長となって初めて同窓会役員会が開かれ、大先輩から懐かしい顔まで、多くの卒業生の方々と顔を合わせることができ大変嬉しい気持ちでした。11月3日には同窓会総会も開かれる予定です。多くの同窓生の皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

最後になりましたが、同窓生の皆様には、くれぐれもお体に十分留意され、健康第一でお過ごしください。

令和7(2025)年度
静岡大成中学校・高等学校 入試要項

●静岡大成中学校

募集定員 70名(男・女)
◎前期試験(単願者のみ)
出願期間 令和6年12月9日(月)～25日(水)
試験日 令和7年1月11日(土)
試験内容 ①か②を選択
①学力試験(国語・算数)・面接(児童のみ)
②プレゼンテーション試験・面接(児童のみ)
合格発表 令和7年1月16日(木)正午

◎後期試験

出願期間 令和7年1月17日(金)～23日(木)
試験日 令和7年1月25日(土)
試験内容 ・作文
・面接(児童のみ)
合格発表 令和7年1月29日(水)正午

●静岡大成高等学校

募集定員 200名(男・女)
手続き期間(本入力)令和7年1月15日(水)～23日(木)
出願期間 令和7年1月28日(火)～1月29日(水)
試験日 令和7年2月4日(火)・2月5日(水)
試験内容 ・学力試験(進学コース・総合コース共通)
単願……国語・数学・英語
併願……国語・数学・英語・社会・理科
・面接試験
合格発表 令和7年2月14日(金)正午

●卒業生・在校生優遇制度

下記のいずれかに該当する新入生は、入学時に納付していただく施設設備資金100,000円が免除になります。

- a.父か母が、静岡大成(精華)高等学校、または静岡大成(精華)中学校の卒業生である。
- b.兄か姉が、静岡大成高等学校、静岡大成中学校の卒業生である。
- c.兄弟姉妹が、静岡大成高等学校、または静岡大成中学校に在籍している。

※学校説明会の日程等はホームページをご覧ください



中学・高校 ロボット研究部

部活動紹介

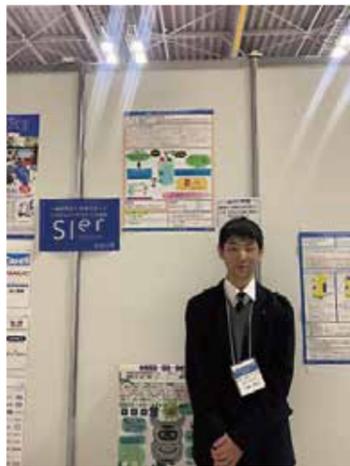


中学・高校 美術部

ロボットアイデア甲子園全国大会

2023年12月2日、ロボットアイデア甲子園全国大会に出場しました。この大会は、全国の若者が新たな産業用ロボットの使い道を考え、それをプレゼンテーション形式で発表します。この大会を通じて、私のプレゼン力は大きく成長したと思います。また、プレゼンにおいて最も重要なことは、いかに聞き手の興味を引き付けるかだということを実感しました。初めころは、プレゼンをして抑揚がなく、聞き手にとって退屈に感じるのではないかと不安がありました。しかし、抑揚やアイコンタクトを意識しながらプレゼンを練習することで、聞き手の反応が変わるのを実感し、自分のプレゼンに対する自信が深まりました。迎えた全国大会では、予選で敗退してしまい、思うような結果は残せませんでした。しかし、全国に勝ち上がった他の人のプレゼンテーションも聞くことができ、非常に良い経験となりました。今後は、この貴重な経験も活かし、さらにスキルを磨いていきたいと思っています。

部長 高校2年 内藤 悠太



今年度も、作品展へ出品し、18年間継続しているボランティア活動を行いました。作品展では「しずおかの緑 絵画コンクール」で銀賞・優秀賞、「市民文化祭」で教育長賞・文化協会賞、「東京国際青少年美術展」で1・2・3位をいただき各大会の授賞式に参加してきました。今後は中部展・市芸祭・県芸祭・新進展・SEIKA AWARD等へも出品予定です。ボランティア活動では商店街へ絵付けした風鈴を手配りし、また老人ホームへ各自の描いた夏・秋の絵の掛け替えを行い、さらに今後「松ぼっくりツリー」の制作手配りを「冬・春の絵」もプレゼントします。今後も積極的に様々な活動に取り組みアピールしていきたいと思っています。

部長 高校3年 伊村 玲美



学園情報

静岡福祉大学
学長 増田 樹郎



「共に生きる」理念のもとで

2024年春、静岡福祉大学は新たな教育理念のもとで出発をいたしました。

従前の「福祉力を鍛える」ということばに換えて、新たな教育理念を「共に生きる」としました。「共に生きる」とは、日本最古の歴史書『古事記』のなかに記されている「ともみ」に由来することばです。共に在り共に生まれ出る未来を、この学び舎から拓いていく使命を、このことばに込めました。

本学が追求する教育像は、「共に生きる」という理念に象徴されます。ひと本来のいのち・生活・人生の多様なライフ・ステージをデザインし、その礎にある地域や環境のあるべき未来を探究するリテラシーを修めることが本学の目的です。

英語表現としては、「共に生きる」には二つの意味があります。一つは「symbiosis（シンビオシス）」であり、この世界の生きとし生けるもの同士が深くつながっている「生命の連鎖」を表現します。もう一つは「coexistence（コイグジスタンス）」で、「多文化共生」、すなわち互いの生き方や考え方の違いを認め合い、自由な関係を通して共に生きていくことを意味しています。

「共に」ということばを紐解くと、それはコミュニケーションであり、語源としてのラテン語の「コムニオ」は「分かちあうこと」、「コムニカチオ」は「わかりあうこと」を表します。近未来に向けて、このキャンパスにおいて関わりをお持ちいただける皆様と共に、人格共同体としてのコミュニケーションの実現をめざす大学づくりに取り組んでまいります。



静岡精華幼稚園
園長 熊谷 隆弘



幼稚園の教育活動は自然災害との闘いだ！

静岡精華幼稚園は、基本スタンスとしている教育活動の優先順位「第1に命」、「第2に人権」、「第3に教育効果」を念頭におき、教育目標「ひとり立ちする子」の具現化に向け、本園の重点となっている「経験・体験の幅の拡大」「人間関係調整力の伸長」「聞く態度・聞き取る力の育成」に力を入れて取り組みを実施しています。また、健やかな園児の成長を願いながら、丁寧かつ根気強い一日の積み重ねを行っています。

さて、今年の夏は例年以上に暑い日が多く、7月には、静岡市の最高気温が40℃を超え、全国で最も暑い地域となるなど、その後も危険な暑さの日々が続いています。精華幼稚園は、10月6日(日)に運動会を予定していましたが、酷暑の日が続く9月には練習実施が困難なため、11月9日(土)に延期しました。

また、8月には、宮崎県沖の大地震後に「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が初めて発表されました。9月2日(月)は2学期の教育活動開始日ですが、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」の発表を想定しての引き渡し訓練を実施する予定です。

さらに、秋に向け台風が心配なシーズンも迎えます。この「同窓会だより」の原稿を書いている今は、8月27日(火)の午前中です。数日前に発生した強い勢力の台風10号が明後日には九州に上陸し、その後日本列島を縦断する、という予報も現在出ています。地球温暖化の影響なのか、台風の「進路」「勢力」「風の強さ」「雨量」「被害予測」等、気象庁でさえも予想がしにくい状況となっているため、台風の進路予想円も超巨大です。大事をとって、明日から3日間、精華幼稚園は預かり保育(さくら)を中止することとしました。

2学期以降も「危険な暑さ」の中で、「地震、台風等の自然災害への備え」を含め、気を引き締めて、充実した教育活動を進めていかなくてはなりません。自然の驚異がより一層大きくなり、様々なことが予測困難な状況となっておりますが、子どもたちや保護者の皆様、幼稚園に関わりのある方々の安全、安心を守るために、適切な判断のもと、様々な取組を行っていきたくと考えています。

最後になりますが、静岡精華幼稚園のシンボルである「風を知るふくろう」と「風見鶏」を、8月下旬に新調しました。台風等の暴風にもしっかり耐えることができるシンボルを設置することができ安心です。

自然災害との闘いはこれからが本番です。「風を知るふくろう」と「風見鶏」とともに闘いは続きます！

いきいき 卒業生



株式会社ナナクレマ 代表取締役
武友 久美(旧姓増田)(大成2回卒業)

卒業した先輩たちからカバンを引き継ぎ、あえて年季の入ったカバンで通学したり、夏でも長袖のセーラー服がかわいい!と一年中長袖で過ごしたりと、精華高校に入学し大成高校を卒業することになった私は、小さなこだわりを持って日々「最後のセーラー服」を楽しんでいました。

校舎が変わり、校名が変わり、一つ下に男子が入学。プレザーの制服、女子もネクタイ!クラスの数、生徒の数は私たち代の3倍...目まぐるしく訪れた学校の変革期に戸惑いながらも高校生活の楽しさはそのままに、やんちゃさとジェットコースターのような思春期の自分と向き合いながら、あっという間に卒業を迎えた...高校時代を振り返るとそんな感覚です。

あれから18年。紆余曲折ありましたが、25歳で起業した会社は11年目を迎えることができました。

卒業後に進んだ進路は大手コーヒーチェーンでの接客業。その先にどんな人生があるのかわからないながらも必死に売上と自分の成長を追いかけました。店舗で働くスタッフのほとんどが大学生。同年代のアルバイトとの職場は、衝突もたくさんありましたが、卒業後の進路に貢献できたらと、情熱を燃やして楽しい時間を過ごすことができました。

ただ、学生アルバイトのみんながとある時期になると必ず「病む」ことに疑問を抱えていました。当時氷河期世代を迎えていた就職活動。

店舗で活躍していても、就活になると自信を失い、表情が曇っていくことに疑問を感じたことがきっかけで、現在の就活を変えていきたいと思ったのがやがて起業につながっていききました。

現在は就職活動を迎える学生と新卒採用活動を行う企業の支援事業を展開し、静岡県内を中心に年間2000人の就活生、約400社の企業様とお付き合いいただいております。変化を楽しむこと、環境に順応すること。高校時代のそういった経験が今の自分を支えているのではと思っています。

2022年から静岡大成高校でもキャリア教育に携わらせていただき、今年の3年生の就職活動においても計10回の授業を提供し41名の生徒を選考試験に送り出すことができました。

今後も生徒のキャリア支援を通じて自分を育ててくれた大成高校の先生方への恩返しをしていきたいと思っています。

